

相談事例紹介

「家族と離れたことがないAさんが母の入院によって得た経験」

脳性まひと重度の知的障がいのあるAさんは、普段は家族と生活しながら、日中は施設に通所しています。外出時は車いすで、家の中では這って移動できますが、お風呂やトイレ、着替え、食事にも介助が必要です。

ある時、介護の中心である母親に手術・入院が必要となりました。これまで、家族と離れて宿泊した経験がほとんどなかったAさん。周囲は、本人がショートステイを利用できるのか不安でしたが、家族や支援員と話をするうちに、本人が『お母さん手術がんばって。僕もその間、ショートステイがんばるよ』と決意され、10日間、日中は施設に通いながら、ショートステイを利用しました。そして、母の手術も無事に終わり、普段の生活に戻ることができました。

本人や家族もこの経験が、将来の生活を考えるきっかけになったと話されています。

令和7年度 東区・博多区合同研修会 ～住み慣れた地域で安心して暮らすために～

11月11日（火）に東区、博多区の事業所を対象として合同研修会を開催。今回の研修会は午前・午後の2部構成で実施しました。

午前の部は『緊急時の受け皿を増やそう』というテーマで、短期入所事業所のさくらガーデン中川氏、虹の家中村氏が登壇され、サービスを提供するうえでの思いや運営面での工夫について話をいただきました。

午後の部は『緊急時対応を考える』というテーマで、緊急時に利用できる制度の説明や、緊急時に慌てないための事前準備に関する研修会を実施しました。

実際に参加していただいた事業所の方からは、
「地域での困り事に対応できるよう今後に生かしたい」
「緊急時を想定した準備を整えたい」「胃ろうなど研修を受け、医療的ケアが必要な方も受け入れられたらよいと思った」といった声がありました。





事業所紹介 就労継続支援A型事業所「オルタス福岡」

博多区空港前3丁目のユニバ通りに今年4月に開所のお弁当作りをされているA型事業所です。この事業所の方針は、個々の利用者さんの個性を尊重していることです。仕事内容は、手作り弁当製造（盛り付け、調理、調理補助、洗い物、店舗の清掃など）、パソコン入力業務（毎日の受注管理や書類作成等のパソコン作業）。勤務時間は、6時～15時の中から週20時間の範囲で自分で選ぶことができます。

A型就労後については、オルタスで働きたい方はそのまま障害者雇用を目指すことができます。一般企業の就労を目指す方は社会的なマナー等を学ぶこともできます。

オルタス福岡では1個からお弁当の配達をしています。（配達区域：博多区・博多区周辺の糟屋郡）管理栄養士監修のお弁当です。

住所：福岡市博多区空港前3丁目-27-14

電話：092-260-3215

時間：7時～15時（月～金）



お知らせ



新しくなった
もん！

《博多区第2基幹圏域共同体》は、令和7年10月より新たなかたちでスタートしました。以下の事業所との3者協定となりました。

- ☆アップルハート博多相談センター
- ☆相談支援あとむ

さらに、地域の相談支援体制の充実が図れるように努めていきます。



新入職員紹介

自分を動物に例えると…

江藤です。
10月から勤務しています言語聴覚士です。
ライオンのように頼れる相談員を目指しています。



令和7年度 九州地区 障がい者相談支援事業合同研修会 宮崎大会

九州の相談支援事業関係者が集まる研修会が、今年度は12月11日と12日の2日間にわたって宮崎県で開催されました。

当センターからは長澤と江藤が参加しました。障がい福祉施策の動向や、障がい福祉の道を長年現場で開拓してこられた先生方のご経験について学べる貴重な機会となりました。



博多区第2障がい者基幹相談支援センター
☎092-589-6292

〒812-0894 博多区諸岡1丁目15-22

FAX 092-589-6293

E-mail daichi@center.email.ne.jp

<開所日> 平日9:00～17:00